

(1日目)：8月10日(土) プログラム

A会場：テルサホール(西館 1F)

■ 9:30～9:35 開会挨拶

現地開催

オンデマンド配信

■ 9:35～10:35 教育講演

現地開催

オンデマンド配信

トラウマ臨床における心理教育：私たちは何を伝えるべきか

座長：大江美佐里(久留米大学医学部 神経精神医学講座)
演者：前田 正治(福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座、ふくしま心のケアセンター)

■ 10:45～11:45 特別講演

現地開催

オンデマンド配信

アメリカでのトラウマインフォームドケア

座長：瀧野 揚三(大阪教育大学学校安全推進センター)
演者：細田(アーバン) 珠希(鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座)

■ 12:00～13:00 ランチョンセミナー①

現地開催

PTSD と統合失調症

座長：岩井 圭司(大阪人間科学大学 人間科学部医療福祉学科 特任教授)
演者：金 吉晴(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 名誉所長)
共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

■ 13:10～14:00 能登半島地震シンポジウム

現地開催

オンデマンド配信

能登半島地震でのこころのケア活動

座長：高橋 晶(筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 / 茨城県立こころの医療センター)
シンポジスト：池田 隆義(石川県立こころの病院 地域災害支援部)
濱松 湊子(石川県こころの健康センター)
吉岡 智子(石川県能登北部保健福祉センター(石川県能登北部保健所兼務) 健康推進課)

令和6年能登半島地震における災害時こころのケア、DPAT 活動報告 ～「疾患レベル」の視点から～

池田 隆義(石川県立こころの病院 地域災害支援部)

令和6年能登半島地震後の石川県こころの健康センターの働き

濱松 湊子(石川県こころの健康センター)

令和6年能登半島地震における地域の実情と心のケア

吉岡 智子(石川県能登北部保健福祉センター(石川県能登北部保健所兼務) 健康推進課)

■ 14:10～15:40 大会企画シンポジウム 1

現地開催

オンデマンド配信

多様性とトラウマ

座長：岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）
田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）
シンポジスト： 玉木 幸則（一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク 代表理事）
田中 恵子（特定非営利活動法人 RAFIQ（難民との共生ネットワーク））
井上 鈴佳

唯一無二の自分が好きって思えること

玉木 幸則（一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク 代表理事）

日本に保護を求めた難民の抱えるトラウマについて

田中 恵子（特定非営利活動法人 RAFIQ（難民との共生ネットワーク））

多様性が尊重される社会に向けての教育の重要性について ～性の多様性についての授業経験から～

井上 鈴佳

■ 15:50～17:20 大会企画シンポジウム 2

現地開催

オンデマンド配信

トラウマインフォームドアプローチが根付くには

座長：亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）
シンポジスト： 川野 雅資（心の相談室 荻窪 室長）
村田 純子（大阪府中央子ども家庭センター）
卜部 明（相模原市立青少年相談センター）

精神看護の立場から

川野 雅資（心の相談室 荻窪 室長）

大阪府子ども家庭センターにおけるトラウマインフォームドケア（TIC）の実践

村田 純子（大阪府中央子ども家庭センター）

トラウマ・インフォームド・スクールに向けて

卜部 明（相模原市立青少年相談センター）

■ 17:20～17:40 総会

現地開催

B 会場：セミナー室（東館 2F）

■ 17：30～18：30 ポスターセッション

現地開催

オンデマンド配信

- P1 感情と感情制御が解離状態に及ぼす影響
池田 龍也（兵庫教育大学大学院学校教育研究科）
- P2 消防職員を対象にしたグループミーティングの効果に関する文献レビュー
松井 豊（筑波大学人間系）
- P3 慈悲とマインドフルネス瞑想の PTSD 症状に対する効果 -2- 症例の検討
井上 美沙（関西学院大学 文学部、医療法人 三家クリニック）
- P4 匿名 Web アンケートによる性犯罪被害申告に関する研究
佐々木利奈（千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、大阪大学大学院連合小児発達学研究科）
- P5 Dynamic Time Warping を用いた PTSD 症状の経時的変化：平和維持活動要員を対象とした縦断研究
斉藤 拓（防衛医科大学校 防衛医学研究センター 行動科学研究部門）
- P6 児童福祉領域で働く支援職のトラウマコンピテンシーに関する質問紙調査—知識・態度・実践に関して
高田紗英子（大阪大学大学院 人間科学研究科）
- P7 子ども期逆境体験と意図しない妊娠との関連の検討：横断研究
金森 由晃（東京大学 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 精神看護学分野）
- P8 対面での性暴力被害者とオンライン上での性暴力被害者の自己客体化および PTSD 関連症状の差異
松岡 優菜（兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科、日本学術振興会特別研究員）
- P9 性暴力被害者のためのワンストップセンターにおける精神科・心療内科との連携の取り組み ～京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター 京都 SARA の実践から～
周藤由美子（ウィメンズカウンセリング京都）
- P10 山梨県立北病院の医療スタッフを対象とした逆境的小児期体験および保護的体験、潜在的トラウマ体験の頻度と PTSD 症状の実態調査
児玉 啓輔（地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院）
- P11 集団場面での傷病発生時における傷病者以外の児童への対応方法の検討—小学校教員を対象としたインタビュー調査の回答内容および大学生を対象とした回想法による検討—
桃田 茉子（兵庫県こころのケアセンター）
- P12 新型コロナ禍の救急活動と精神的健康との関連：コロナ禍における救急隊員のストレス（15）
畑中 美穂（名城大学）
- P13 300km 離れたかかりつけ医との連携により円滑に治療できたオンライン持続エクスポージャー療法の 1 例
藤内 温美（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部）
- P14 鳥取県の児童相談所における TIC 研修の実践
小山 義晃（鳥取県西部総合事務所県民福祉局米子児童相談所）

- P15 PTSD 患者の在宅での睡眠の実態 - 睡眠時間は取れているが質が低下？
関場 遥 (筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
- P16 再発した PTSD 症状に対するメマンチンの使用経験
金井 講治 (大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター、大阪大学大学院医学系研究科 精神医学)
- P17 東日本大震災による母親の惨事ストレスと児の問題行動との関連について
田邊 竣 (東北大学医学部)
- P18 日本語版 Child Abuse and Trauma Scale の性別および青年・成人間での測定不変性の検討
田辺 肇 (静岡大学人文社会科学部)
- P19 陸上自衛官における精神疾患に対するスティグマと援助希求態度
浅野孝太郎 (防衛医科大学校 精神科学講座)
- P20 東日本大震災後に発症した PTSD 症例が PE で一旦改善し、その 3 年後に父の死をきっかけに抑うつ
的になった症例にスキーマ療法を施行した経過について
堀 有伸 (ほりメンタルクリニック、福島県立医科大学神経精神医学講座)
- P21 被爆地を離れた被爆者の伝承活動に関する意識
中嶋みどり (仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科)
- P22 神経発達症と PTSD の併存例に対して認知処理療法を行った一例
石田 哲也 (久留米大学医学部神経精神医学講座)
- P23 PTSD 患者が合理的配慮申請時に感じた二つの不合理
山下 達也 (岐阜市民病院小児科)
- P24 わが国におけるセルフケア尺度の再検討 その 1 —健常群を対象とした因子構造の再現性の検討—
今井田貴裕 (人間環境大学心理学部)
- P25 わが国におけるセルフケア尺度の再検討 その 2 —探索的因子分析を用いて—
三地きらら (兵庫教育大学大学院 学校教育研究科)
- P26 事業場内産業保健スタッフによるポストベンションの現状と課題
保崎恵理子 (京都府警察本部、京都大学大学院教育学研究科)

(2日目)：8月11日(日) プログラム

A会場：テルサホール (西館 1F)

■ 9:15～10:45 シンポジウム A1

現地開催

オンデマンド配信

災害対応におけるトラウマティックストレス ～能登半島地震等の経験を踏まえて～

企画者：高橋 晶 (筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、
茨城県立こころの医療センター、筑波メディカルセンター病院 精神科)
座長：高橋 晶 (筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、
茨城県立こころの医療センター、筑波メディカルセンター病院 精神科)
前田 正治 (福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座)
シンポジスト：高間 辰雄 (鹿児島市立病院 救命救急センター)
中田 敬司 (神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科)
池田 美樹 (桜美林大学リベラルアーツ学群)
高橋 晶 (筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター、
筑波メディカルセンター病院 精神科)

- A1-1 医療従事者の惨事ストレス教育 熊本地震の経験を活かすための試み
高間 辰雄 (鹿児島市立病院 救命救急センター)
- A1-2 JICA 国際緊急援助隊医療チーム (以下 JDR 医療チーム) 及び DMAT 等の派遣経験から救済者の TS (トラウマティックストレス以下 TS) を考える。
中田 敬司 (神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科)
- A1-3 児童生徒および学校コミュニティに対する心理的サポートトラウマティックストレスから生活ストレスへの対応
池田 美樹 (桜美林大学リベラルアーツ学群)
- A1-4 災害時の被災者支援と支援者支援～能登半島地震等の経験から
高橋 晶 (筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター、
筑波メディカルセンター病院 精神科)

■ 10:55 ~ 12:25 シンポジウム A2

現地開催

オンデマンド配信

小児期トラウマとしてのいじめ：

その長期的影響の理解と回復への支援、ケア、予防

- 企画者：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座（児童精神医学）、
岩手医科大学いわてこどもケアセンター）
- 座長：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座（児童精神医学）、
岩手医科大学いわてこどもケアセンター）
- 榎屋 二郎（東京医科大学 精神医学分野、東京医科大学病院こどものこころ診療部門、
親と子のサポートセンターふくしま）
- シンポジスト：榎屋 二郎（東京医科大学 精神医学分野、東京医科大学病院こどものこころ診療部門、
親と子のサポートセンターふくしま）
- 増田 史（滋賀医科大学 精神医学講座）
- 八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座（児童精神医学）、
岩手医科大学いわてこどもケアセンター）
- 和久田 学（公益社団法人 子どもの発達科学研究所、大阪大学大学院連合小児発達学研究所、
浜松医科大学子どものこころの発達研究センター）
- 指定討論者：笠原 麻里（医療法人財団青溪会 駒木野病院）

A2-1 小児期逆境体験としてのいじめ、いじめ研究の内外の動向

榎屋 二郎（東京医科大学 精神医学分野、東京医科大学病院こどものこころ診療部門、
親と子のサポートセンターふくしま）

A2-2 いじめがもたらす PTSD/不登校/孤立、傷ついた子どもたちへの支援とケア

増田 史（滋賀医科大学 精神医学講座）

A2-3 大震災後の被災地でのいじめにみる地域のトラウマの影響と支援

八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座（児童精神医学）、
岩手医科大学いわてこどもケアセンター）

A2-4 いじめ防止と学校教育の役割

和久田 学（公益社団法人 子どもの発達科学研究所、大阪大学大学院連合小児発達学研究所、
浜松医科大学子どものこころの発達研究センター）

■ 12:40 ~ 13:40 ランチョンセミナー②

現地開催

精神科領域におけるプログラム医療機器の開発の現状と課題

- 座長：前田 正治（福島県立医科大学 災害こころの医学講座 主任教授）
- 演者：岸本泰士郎（慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座 特任教授）
- 共催：大塚メディカルデバイス株式会社

■ 13:50～15:20 シンポジウム A3

現地開催

オンデマンド配信

家族システムからみるトラウマ、トラウマからみえる家族

企画者：野坂 祐子（大阪大学大学院人間科学研究科）
座長：野坂 祐子（大阪大学大学院人間科学研究科）
福丸 由佳（白梅学園大学子ども学部）
シンポジスト：野末 武義（明治学院大学心理学部、IPI 統合的心理療法研究所）
福丸 由佳（白梅学園大学子ども学部）
小平かやの（東京都児童相談センター）
指定討論者：菅原ますみ（白百合女子大学人間総合学部）

- A3-1 現在の個人・カップル・家族システムの中に見える過去～多世代家族療法の観点から～
野末 武義（明治学院大学心理学部心理学科、IPI 統合的心理療法研究所）
- A3-2 離婚という家族の移行期におけるトラウマインフォームドケアの必要性と可能性
福丸 由佳（白梅学園大学子ども学部）
- A3-3 児童相談所の現場におけるトラウマと家族支援
小平かやの（東京都児童相談センター）

■ 15:30～17:00 シンポジウム A4

現地開催

オンデマンド配信

性犯罪に関する刑法改正による司法・支援現場の現状と課題—改正から1年を経て—

企画者：成澤 知美（武蔵野大学人間科学部）
大岡 由佳（武庫川女子大学）
座長：成澤 知美（武蔵野大学人間科学部）
大岡 由佳（武庫川女子大学）
シンポジスト：小西 聖子（武蔵野大学人間科学部）
齋藤 梓（上智大学総合人間科学部、公益社団法人被害者支援都民センター）
山本 潤（茨城県立医療大学）
長谷川桂子（長谷川法律事務所）

- A4-1 改正から1年を経て、専門調査会のデータと精神科医の仕事から見えること
小西 聖子（武蔵野大学人間科学部）
- A4-2 2023年改正後の性暴力被害者支援における変化と課題—心理職の立場から
齋藤 梓（上智大学総合人間科学部、公益社団法人被害者支援都民センター）
- A4-3 支援現場の現状と課題
山本 潤（茨城県立医療大学）
- A4-4 令和5年刑法改正と司法の現場で体感する改正後の現状
長谷川桂子（長谷川法律事務所）

■ 17:00～17:05 閉会の挨拶

現地開催

オンデマンド配信

B会場：セミナー室（東館 2F）

■ 9：15～10：45 シンポジウム B1

現地開催

オンデマンド配信

トラウマ臨床における肝心要と柔軟 —模擬事例を交えて—

企画者：大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）
井野 敬子（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）
座長：井野 敬子（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）
シンポジスト：大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）
井野 敬子（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部）
利重 裕子（名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学）
指定討論者：小西 聖子（武蔵野大学）

B1-1 保険診療の立場から考えるトラウマ臨床

大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）

B1-2 PTSDを維持する認知と行動に着目した PTSD の通常診療 - 持続エクスポージャー療法の治療視点で -

井野 敬子（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部）

B1-3 対人関係療法～人との関わりの中で安心感を育みながらトラウマ症状改善をめざす～

利重 裕子（名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学）

■ 10：55～12：25 シンポジウム B2

現地開催

オンデマンド配信

学校性暴力への対応と子どもの性暴力を予防する場となるために

企画者：吉田 博美（駒澤大学 学生支援センター）
座長：吉田 博美（駒澤大学 学生支援センター）
瀧野 揚三（大阪教育大学学校安全推進センター）
シンポジスト：吉田 茂昭（熊取町教育長）
笠原 麻央（大阪弁護士会、老松町総合法律事務所）
吉田 博美（駒澤大学 学生支援センター）
藤岡 淳子（一般社団法人もふもふネット）
指定討論者：若田 透（大阪府枚方市立東香里中学校）

B2-1 学校現場における性暴力の被害と加害の対応の実際

吉田 茂昭（熊取町教育長）

B2-2 性暴力に対応できる組織となるために必要なことスクールロイヤーの視点から

笠原 麻央（大阪弁護士会、老松町総合法律事務所）

B2-3 教職員等からの児童生徒性暴力への対応と予防に必要な取組

吉田 博美（駒澤大学 学生支援センター）

B2-4 学校における性暴力予防のための対話サークルの活用

藤岡 淳子（一般社団法人もふもふネット）

■ 13:50～15:20 シンポジウム B3

現地開催

トラウマの影響に着目した刑務所内治療共同体の効果とその後
—刑事施設初入者の変化に関する量的・質的考察—

企画者：坂東 希（大阪公立大学）
座長：坂東 希（大阪公立大学）
シンポジスト：羽山 順子（広島国際大学健康科学部心理学科）
福永 恵子（島根あさひ社会復帰促進センター 社会復帰促進部）
酒井 達樹（島根あさひ社会復帰促進センター 社会復帰促進部）
毛利 真弓（同志社大学 心理学部）
指定討論者：藤岡 淳子（もふもふネット）

- B3-1 量的データから見た治療共同体（Therapeutic Community）プログラムの効果と回復
羽山 順子（広島国際大学健康科学部心理学科）
- B3-2 参加メンバーのインタビューから見た治療共同体（Therapeutic Community）プログラムの効果と回復の過程
福永 恵子（島根あさひ社会復帰促進センター 社会復帰促進部）
酒井 達樹（島根あさひ社会復帰促進センター 社会復帰促進部）
- B3-3 回復の実感と適応—出所後のインタビュー調査から—
毛利 真弓（同志社大学 心理学部）

■ 15:30～17:00 シンポジウム B4

現地開催

オンデマンド配信

トラウマに配慮した被害者支援とは

企画者：岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）
座長：岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）
中島 聡美（武蔵野大学人間科学部人間科学科）
シンポジスト：岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）
楠本 節子（認定 NPO 法人大阪被害者支援アドボカシーセンター）
林 貴子（公益社団法人ぎふ犯罪被害者支援センター）
富名腰由美子（公益社団法人京都犯罪被害者支援センター）

- B4-1 精神科外来診療での被害者支援
岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）
- B4-2 犯罪被害者への支援と支援センターの研修
楠本 節子（認定 NPO 法人大阪被害者支援アドボカシーセンター）
- B4-3 性犯罪・性暴力被害者への支援
林 貴子（公益社団法人ぎふ犯罪被害者支援センター）
- B4-4 死傷者多数の放火殺人事件の裁判における支援について
富名腰由美子（公益社団法人京都犯罪被害者支援センター）

C会場：大会議室（東館 3F）

■ 9：15～10：45 シンポジウム C1

現地開催

オンデマンド配信

エビデンスから考えるトラウマインフォームドケア

企画者：西 大輔（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）
座長：大岡 由佳（武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科）
シンポジスト：西 大輔（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）
白田謙太郎（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）
浅岡 紘季（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）
大岡 由佳（武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科）

C1-1 日本における TIC のエビデンス

西 大輔（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）

C1-2 精神保健福祉センターにおけるトラウマインフォームドケアの普及状況と活用実態調査の報告

白田謙太郎（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）

C1-3 医療従事者における Psychological First Aid（心理的応急処置）研修の受講経験とトラウマインフォームドケアに対する態度の関連

浅岡 紘季（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）

C1-4 母子領域支援者への TIC（トラウマインフォームドケア）研修の効果

大岡 由佳（武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科）

■ 10：55～12：25 シンポジウム C2

現地開催

オンデマンド配信

虐待加害親へのトラウマインフォームドケア ～保護者支援プログラムから考える～

企画者：亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）
小平かやの（東京都児童相談センター）
座長：亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）
小平かやの（東京都児童相談センター）
シンポジスト：小平かやの（東京都児童相談センター）
犬塚 峰子（大正大学カウンセリング研究所）
森田 展彰（筑波大学医学医療系社会精神保健学）
安藤 智子（筑波大学人間系）

C2-1 PCIT と CARE の実践と課題

小平かやの（東京都児童相談センター）

C2-2 AF-CBT 実践において重視されていることとトラウマインフォームドケア

犬塚 峰子（大正大学カウンセリング研究所）

C2-3 逆境的体験の影響を受けた養育者に対するアセスメントと支援

森田 展彰（筑波大学医学医療系社会精神保健学）

C2-4 「安心感の輪」子育てプログラムの実践を通じた試み

安藤 智子（筑波大学人間系）

■ 13:50～15:20 シンポジウム C3

現地開催

オンデマンド配信

子どもの医療分野におけるトラウマインフォームドケア

企画者：三宅和佳子（兵庫県こころのケアセンター、大阪母子医療センター 子どものこころの診療科）
座長：三宅和佳子（兵庫県こころのケアセンター、大阪母子医療センター 子どものこころの診療科）
松本 慶太（大阪市立総合医療センター、児童青年精神科）
シンポジスト：三宅和佳子（兵庫県こころのケアセンター、大阪母子医療センター 子どものこころの診療科）
岩垂 喜貴（駒木野病院 精神科）
川野 由子（甲南大学 公認心理師養成センター、
独立行政法人 大阪母子医療センター リハ・育療支援部門）
柴田真理子（兵庫県立尼崎総合医療センター精神科）

C3-1 小児病院におけるトラウマインフォームドケアについての調査

三宅和佳子（兵庫県こころのケアセンター、大阪母子医療センター 子どものこころの診療科）

C3-2 児童精神科入院施設におけるトラウマインフォームドケア

岩垂 喜貴（駒木野病院 精神科）

C3-3 NICUにおけるトラウマ・インフォームドケア 一親子のはじまりを支えるために

川野 由子（甲南大学 公認心理師養成センター、独立行政法人 大阪母子医療センター リハ・育療支援部門）

C3-4 総合病院におけるトラウマインフォームドケア（TIC）

柴田真理子（兵庫県立尼崎総合医療センター精神科）

■ 15:30～17:00 シンポジウム C4

現地開催

オンデマンド配信

支援者とトラウマインフォームドケア

～支援者として働くために必要な安全とは～

企画者：大澤 智子（兵庫県こころのケアセンター）
座長：内海 千種（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）
シンポジスト：藤澤 陽子（こども家庭庁家庭福祉課）
牧田 潔（愛知学院大学心理学部）
大澤 智子（兵庫県こころのケアセンター）

C4-1 児童福祉施設における重大事故への対応と支援者支援について

藤澤 陽子（こども家庭庁家庭福祉課）

C4-2 消防組織による職員の心理的危機に対する支援について

牧田 潔（愛知学院大学心理学部）

C4-3 災害時における保健師のための支援者支援とは

大澤 智子（兵庫県こころのケアセンター）

D会場：D会議室（東館 3F）

■ 9：15～10：45 シンポジウム D1

現地開催

オンデマンド配信

学校での行動上の問題に対処するストラテジーを考える

企画者：松浦 正一（帝京平成大学 健康メディカル学部）
座長：松浦 正一（帝京平成大学 健康メディカル学部）
岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）
シンポジスト：阪無 勇士（目白大学心理学部心理カウンセリング学科）
庭山 和貴（大阪教育大学 総合教育系）
武津 正宜（神戸少年鑑別所鑑別部門）

- D1-1 児童相談所一時保護所における治療的な関わり：トラウマインフォームドな子ども中心の支援と組織運営
阪無 勇士（目白大学心理学部心理カウンセリング学科）
- D1-2 学校規模ポジティブ行動支援（SWPBS）が行動上の問題に及ぼす効果
庭山 和貴（大阪教育大学 総合教育系）
- D1-3 矯正施設における被害体験を抱えた少年たちへの関わりについて
武津 正宜（神戸少年鑑別所鑑別部門）

■ 10：55～12：25 シンポジウム D2

現地開催

オンデマンド配信

※国際交流委員会共催シンポジウム

緊急事態における在外邦人の退避・避難とメンタルヘルス支援

企画者：重村 淳（目白大学 保健医療学部）
座長：重村 淳（目白大学 保健医療学部）
畑中 美穂（名城大学 人間学部 人間学科）
シンポジスト：後藤 浩也（在ジブチ日本国大使館）
吉田 常孝（外務省 診療所）
黒澤 美枝（武蔵野大学、目白大学）
指定討論者：井筒 節（東京大学大学院農学生命科学研究科）

- D2-1 邦人退避における大使館医務官の役割
後藤 浩也（在ジブチ日本国大使館）
 - D2-2 在外邦人退避の実際と帰国者支援
吉田 常孝（外務省 診療所）
 - D2-3 緊急事態におかれた在外邦人のトラウマ支援
黒澤 美枝（武蔵野大学、目白大学）
- D2- 指定討論
井筒 節（東京大学大学院農学生命科学研究科）

■ 13:50～15:20 シンポジウム D3

現地開催

オンデマンド配信

ナラティブとエクスポージャーの両立？浸潤？困難？それとも融合？

企画者：森 茂起（甲南大学人間科学研究所）
岩井 圭司（大阪人間科学大学人間科学部医療福祉学科）
座長：森 茂起（甲南大学人間科学研究所）
岩井 圭司（大阪人間科学大学人間科学部医療福祉学科）
シンポジスト：森 茂起（甲南大学人間科学研究所）
岸本 寛史（静岡県立総合病院 緩和医療科）
小川 香織（岩手医科大学附属病院 児童精神科）
指定討論者：岩井 圭司（大阪人間科学大学人間科学部医療福祉学科）

D3-1 全体トラウマ治療の分担者としての治療者

森 茂起（甲南大学人間科学研究所）

D3-2 パンクセップの基本情動からみたトラウマ

岸本 寛史（静岡県立総合病院 緩和医療科）

D3-3 TF-CBT におけるナラティブとエクスポージャー

小川 香織（岩手医科大学附属病院 児童精神科）

■ 15:30～17:00 シンポジウム D4

現地開催

オンデマンド配信

COVID-19 による死別とあいまいな喪失

企画者：黒川雅代子（龍谷大学短期大学部）
座長：村上 典子（神戸赤十字病院心療内科）
シンポジスト：黒川雅代子（龍谷大学短期大学部）
瀬藤乃理子（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
守上 佳樹（医療法人双樹会 よしき往診クリニック、一般社団法人 KISA2 隊 OYAKATA）

D4-1 あいまいな喪失というレンズを通して考える遺族の語り

黒川雅代子（龍谷大学短期大学部）

D4-2 COVID-19 によるあいまいな喪失と死別の支援～文献レビューから考える今後の支援～

瀬藤乃理子（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

D4-3 有事における医療機関側の動きについて

守上 佳樹（医療法人双樹会 よしき往診クリニック、一般社団法人 KISA2 隊 OYAKATA）

オンデマンド配信：2024年8月10日(土)～9月30日(月)

■シンポジウム E1

オンデマンド配信

きょうだいを亡くした子どもへのケア

企画者：櫻井 鼓（追手門学院大学／横浜思春期問題研究所）
座長：櫻井 鼓（追手門学院大学／横浜思春期問題研究所）
シンポジスト：赤田ちづる（関西学院大学 悲嘆と死別の研究センター）
 中西 朝子（神奈川県警察本部）
 飯牟禮充代（横浜市市民局人権課 横浜市犯罪被害者相談室）
指定討論者：亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）

- E1-1 **犯罪被害で遺されたきょうだいの体験の特徴**
赤田ちづる（関西学院大学 悲嘆と死別の研究センター）
- E1-2 **事故・事件できょうだいを亡くした子どもへの警察における支援**
中西 朝子（神奈川県警察本部）
- E1-3 **地方公共団体における、きょうだいを亡くした子どもへの支援**
飯牟禮充代（横浜市市民局人権課 横浜市犯罪被害者相談室）

■シンポジウム E2

オンデマンド配信

TIC を活用した心理臨床：各領域における実践の工夫

企画者：中原由望子（立命館大学人間科学研究科）
座長：中原由望子（立命館大学人間科学研究科）
シンポジスト：谷家 優子（兵庫教育大学、東布施野田クリニック、大阪人間科学大学、大手前大学）
 篠山 義郎（加古川刑務所）
 礒崎 聖子（大阪公立大学）
 相間佐基子（大阪弁護士会）

- E2-1 **依存性物質や嗜癖行動と TIC**
谷家 優子（兵庫教育大学、東布施野田クリニック、大阪人間科学大学、大手前大学）
- E2-2 **司法矯正施設における TIC 活用の実践と課題**
篠山 義郎（加古川刑務所）
- E2-3 **TIC の視点から、がん遺族ケアを考える**
礒崎 聖子（大阪公立大学）
- E2-4 **少年司法と TIC**
相間佐基子（大阪弁護士会）

■シンポジウム E3

オンデマンド配信

COVID-19 パンデミックにより PTSD 反応を呈する学生の支援

企画者：野田 哲朗（東布施野田クリニック、大阪人間科学大学心理学部）
座長：堤 俊彦（大阪人間科学大学心理学部心理学科）
シンポジスト：野田 哲朗（東布施野田クリニック、大阪人間科学大学心理学部）
堤 俊彦（大阪人間科学大学心理学部心理学科）
谷家 優子（大阪人間科学大学、東布施野田クリニック、兵庫教育大学、大手前大学）
永浦 拓（北海道教育大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻）
藤田 益伸（人間総合科学大学人間科学部心身健康科学科）

E3-1 COVID-19 パンデミック下の学生のメンタルヘルス

野田 哲朗（東布施野田クリニック、大阪人間科学大学心理学部）

E3-2 パンデミックに伴う反すうから生じるメンタルヘルス悪化とその緩和要因としての心理的柔軟性の検討

堤 俊彦（大阪人間科学大学心理学部心理学科）

E3-3 COVID-19 パンデミックの影響下での大学生の物質使用とトラウマとの関連

谷家 優子（大阪人間科学大学、東布施野田クリニック、兵庫教育大学、大手前大学）

E3-4 パンデミック時における ACEs とインターネットコンテンツ等への依存およびメンタルヘルスとの関連

永浦 拓（北海道教育大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻）

E3-5 ACEs/BCEs と大学における学び・健康の関連

藤田 益伸（人間総合科学大学人間科学部心身健康科学科）

■シンポジウム E4

オンデマンド配信

震災後 13 年目を迎えた福島は今：被災コミュニティ再生と課題

企画者：前田 正治（ふくしま心のケアセンター、福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
座長：加藤 寛（兵庫県こころのケアセンター）
前田 正治（ふくしま心のケアセンター、福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
シンポジスト：小林 智之（福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座）
川島 慶子（福島学院大学 福島子どもと親のメンタルヘルス情報・支援センター、
親と子のサポートセンターふくしま）
前田 正治（ふくしま心のケアセンター、福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

E4-1 福島への移住者の実態と支援ニーズ

小林 智之（福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座）

E4-2 震災後の福島県沿岸部の子どもへの支援

川島 慶子（福島学院大学 福島子どもと親のメンタルヘルス情報・支援センター、
親と子のサポートセンターふくしま）

E4-3 ふくしま心のケアセンターの歴史とこれから：進むべき 2 つの道

前田 正治（ふくしま心のケアセンター、福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）